

三月十一日——忘れもしないあの日。突然の大きな地震と、誰もが予想しなかった巨大な津波。何もかもが波に流され、のみこまれてしまい、かけがえのない大切なものが消えてしまった日。電気が消え、電話も使えず、道路も通れなかった日々。そして、水道からは、一てきも水が出なかった日々。私は決して忘れない——あの日のことを。

たくさんの不便があったけれど、電気がなくても、なんとかなった。ろうそくの力。毛布や衣類の力。手回しラジオ。ガスが使えなくてもなんとかなった。火の力。たく上コンロの力。車が使えなくても、なんとかなった。自転車の力。歩く力。電話が使えないことは困ったけれど、なんとかなった。きつと、だいじょうぶだと、信じる力。数えていけば、不便なこととはたくさんあった。でも、なんとかなった。

「うん、わかっている。」  
「大事に使うよ。」  
「うん。」  
「そんな会話をしながら、時間だけが過ぎていく。」  
（水。でないかな。）  
と、わかっていても、水道のじゃ口をひねったあのころ。水の大切さや、水のありがたさを実感した。店も開かず、ペットボトルの水をかうこともできず、不安だけが大きくなった。私たちの生活に水がどれだけ必要で、水がどれだけ大切か、ということを中心に底から感じていた。

シャワーもお風呂もがまんして、洗たくもできなくて、

第54回水道週間作品コンテスト(作文・中学生の部)において、中田中1年の千葉沙彩さんの作品が最高賞の特選となり、厚生労働大臣賞を受賞しました。千葉さんの作品を紹介します。



千葉沙彩さん  
(中田中1年・加賀野二)

## 「あの日から」

トイレに流す水も少なくして、水を飲むのも食事に使うのもギリギリまでにしていくの、減っていく手元の水。「この水がなくなったら、私たちはどうなるんだろう。」と、口数も少なくなつたころ、全国各地からかけつけてくれた給水車。あのころ、雪が降るほど寒かったのに、冷たい水をタンクにくんで渡してくれた人々。給水タンクの水の重さが、これほどうれしいことはない、と思った。「ありがとうございます。」

水を受け取りながら、自然とお礼の言葉がでてきた。そして、そのころ、水道から水が出るようにと、たくさんの人が働いていた。水道管の検査をしたりと、私たちに安心・安全な水を届けるために仕事をしていた人々がいた。「水、出るよ。行ってみらいん。」

と、道で会った近所の人に言われ、走って家に入り、じゃ口をひねった時のきん張。「お願い、出て!」と、祈るような気持ちで見つめたじゃ口。

三月十一日の出来事は、辛いことがありすぎたけれど、大切なことを教えてくれた日にもなった。忘れてはいけない。むだにはしてはいけない。何かあった時に、と始めた登校前の「やかん一杯の水」のくみおき。中学生になつて、いそがしくなつて、ついついわすれてしまつていた。また、始めよう「やかん一杯の水」。感謝の気持ちと安心をわすれないためにも。

## 厚生労働大臣賞受賞作品(作文)



文化振興財団制作の作品は「演劇の街 登米市へ」。出演した劇団ドリーム★キッズのメンバーが紹介しました

## 30秒で登米の魅力PR CM大賞 放送は1月3日



12月5日の発表審査会。ステージ上で、司会の渡辺徹さん(右)に作品のコンセプトなどをアピールします。銅賞を獲得した観光物産協会制作の作品は「受け継がれる味 登米市の『はっと』」。渡辺さんの後方にあるのは、観光物産協会のはっとのキャラクター「はっとん」。この日がデビューとなりました

県内市町村の30秒CM作品が出品される「ふるさとCM大賞(東日本放送主催)」の発表審査会が12月5日に仙台市のイズミティ21で開催され、登米市から出品した作品が優秀賞(銅賞)を獲得しました。

今年のCM大賞には、県内30市町村から過去最多となる33作品が応募。登米市から

は、登米市観光物産協会と登米文化振興財団制作の2作品を出品しました。

審査の結果、物産協会の作品が全作品中4位に当たる銅賞を受賞、年間40回の放映権を獲得しました。発表審査会の模様は、1月3日(木)午後4時から5時25分まで、東日本放送で放映されます。

## トップアスリートと交流 オリンピックデー・フェスタ



バレーボールの浦田さんから実技の指導を受ける中田中の生徒たち



オリンピックデー・フェスタで中田中生徒と交流した5人(右から嵯崎さん、須佐さん、清水さん、浦田さん、平瀬さん。右は高橋校長)

トップアスリートがスポーツを通じた被災地支援活動を行っている「オリンピックデー・フェスタ(日本オリンピック委員会が主催)」が12

月8日に中田総合体育館で開催され、中田中(高橋富男校長)の生徒と交流しました。

訪れたのは、ロンドンオリンピックのボクシングパンタム級銅メダリストの清水聡さん、同じくフライ級に出場した須佐勝明さん、サッカーの平瀬智行さん、柔道の檜崎教子さん、ビーチバレーの浦田聖子さんの5人です。5人は、種目ごとに分かれてスポーツ教室をしたり、交流アトラクションで生徒と縄跳びや綱引きをしたりして交流しました。